

- ③ 土壌診断分析結果に基づいた施肥改善事例の紹介
(露地野菜・施設野菜・施設花卉・水田他)
- ④ 土壌改良資材の特性と上手な使い方
(転炉スラグ・天然ゼオライトを中心に)

【小川 吉雄先生】

～物質循環を中心とした施肥と環境影響～

- ① 農業と環境
 - ・自然生態系と農業生態系の違い
 - ・なぜ、文明は崩壊するのか
 - ・人新世という考え方
- ② 生元素の循環
 - ・地球を巡る4つの大循環
 - ・炭素の循環(地球温暖化関連)
 - ・窒素の循環(持続的窒素循環に関する最近の研究紹介)
 - ・生態系における自己施肥機能(リン酸、カリほか)

【六本木 和夫先生】

～誰でもできるリアルタイム分析～

- ① 何故、リアルタイム診断が必要か
- ② リアルタイム診断手法の開発
- ③ 作物別診断 (1) 果菜類、(2) 花き類、(3) 果樹
- ④ 栽培現場における診断(硝酸イオン測定簡易器具の説明)
- ⑤ リアルタイム診断のための硝酸イオン測定の実際

【渡辺 和彦先生】

～野菜の硝酸塩は、人の健康に必須～

- ① 農林水産省『農業技術の基本指針』(平成29年改訂)
～「野菜の硝酸塩対策」の項目削除を受けて特別講義
- ② アルコール利用の土壌還元消毒法(農研機構他共同研究)
- ③ 植物根からの有機物吸収(日本と海外の研究紹介)
- ④ アミノ酸による抵抗性誘導とケイ素の吸収促進
- ⑤ ケイ素の人への健康効果(長寿ホルモンと一酸化窒素合成の活性化)
(※各講師の講義内容は変更する場合があります)

7. 講義内容： ① 講義時間は1講義90分、休憩15分で行う。
② テキストは講師が使用するプロジェクター資料を配布します。
③ 講義終了後検定試験は行いませんが、1か月以内に印象に残った講義についてレポートを提出頂き、講師の評価を受けます。
8. 受講対象者： 過去全肥商連施肥技術講習会を受講し、「施肥技術マイスター」登録し4年～6年経過した登録者（登録有効期限：平成28年9月30日～平成30年12月31日迄）の方、及び都道府県普及職員(含新規受講者)。
9. 更新の選択： (A)か(B)、どちらかを選択して頂きます。
(A)：「施肥技術シニアマイスター」登録希望
◇受講後印象に残った講義について、A4判用紙2枚程度レポートを郵送し評価を判定する。(パソコン作成可)

(B)：「施肥技術マイスター」自動更新
◇レポート提出義務はありません。

* (A)、(B)何れも、認定証カード用写真(3.5×4.4cm、裏面に氏名記載)を郵送願います。
10. 募集人数： 定員120名。
11. 受講料： 2万円。(登録・更新料を含みます)
12. 意見交換会： 講義終了後、講師を囲んで意見交換会を実施します。講義内容の補完、生産現場での情報交換等ご活用下さい。(立食・ドリンク付¥3,000円)
13. 募集締切り：平成29年10月27日(金)迄に、FAXでお申込み下さい。
但し、申込み人数が定員に達し次第、締切らせて戴く場合があります。
14. 宿泊： 必要な方は、各自ホテルを自由にご予約願います。

以上

平成 年 月 日

(社)全国肥料商連合会 殿

(FAX : 03-3817-8882)

受講申込書 (第3回実学コース・仙台更新講習会)

会社名 :

担当者名 :

住所 : 〒

TEL :

FAX :

第18回施肥技術講習会を受講したいので、下記の通り申込みます。

受講者名	生年月日	年齢	性別	登録番号	有効期限	意見交換会
①	T/S/H		男・女			参加・不
②	T/S/H		男・女			参加・不
③	T/S/H		男・女			参加・不
④	T/S/H		男・女			参加・不
⑤	T/S/H		男・女			参加・不
⑥	T/S/H		男・女			参加・不

受講者E-Mailアドレス :

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

第20回施肥技術講習会(第3回実学コース)

2017年11月17日(金)

講義スケジュール表

会場: TKPガーデンシティ仙台ホール21B

主催: (一社)全国肥料商連合会

後援: 農林水産省

時限	時間		講師	講義内容
	9:15~	受付		
	10:00~10:15	開講式		
1	10:15~11:45		後藤	【土壌診断に基づいた施肥】 (1)土壌診断調査法の解説 (土壌診断のための試坑調査と土壌試料採取) (2)土壌診断分析法の基本と最新技術の紹介 (3)土壌診断分析結果に基づいた施肥改善事例紹介 (露地野菜・施設野菜・施設花卉・水田他) (4)土壌改良資材の特性と上手な使い方 (転炉スラグ・天然ゼオライトを中心に)
	11:45~12:30	昼食		
2	12:30~14:00		小川	【物質循環を中心とした施肥と環境影響】 (1)農業と環境 ・農業と環境問題 ・自然生態系と農業生態系 ・文明の画期と環境の変動(人新世) (2)物質循環の破綻と環境影響 ・物質循環とは ・地球をめぐる大循環(大気・水循環・生物圏における養分循環) ・炭素の循環と地球温暖化 ・あふれる窒素をどうするか (3)物質循環を中心とした施肥 ・環境にやさしい農業とは ・物質循環に配慮した施肥管理の最近の研究
	14:00~14:15	休憩		
3	14:15~15:45		六本木	【リアルタイム診断と施肥管理】 (1)リアルタイム診断の必要性 (2)リアルタイム診断手法の開発 (3)作物別診断 (①果菜類、②花卉類、③果樹) (4)栽培現場における診断 (硝酸イオン測定 of 簡易器具の説明) (5)養液土耕栽培(かん水同時施肥)
	15:45~16:00	休憩		
4	16:00~17:30		渡辺	【野菜の硝酸塩は、人の健康に必須】 (1)農林水産省『農業技術の基本指針』(平成29年改訂) ~「野菜の硝酸塩対策」の項目削除を受けて~ (2)好熱菌発酵産物の有効性 (3)アルコール利用の土壌還元消毒法 (農研機構・地方農試・アルコール協会共同研究) (4)最も重要な堆肥の作り方 (5)植物根からの有機物吸収(日本と海外の研究紹介) (6)酢酸、腐植酸、エタノールの葉面散布(関連文献、特許情報) (7)アミノ酸による抵抗性誘導とケイ素の吸収促進
	17:30~17:45	閉講式		終了後解散
	18:00~20:00	意見交換会		(有志参加): 於 ホール21A

* 講義内容は変更する場合があります。